

1 研究テーマ

子どもたちが生き生きと表現活動をするための学習指導のあり方
材との対話に視点を当てて

2 研究内容

- (1) 子どもたちの学習活動が、より一層主体的で対話的なものになるために、本年度は特に、材と子どもたちの関わりに視点を当てて研究を進める。
- (2) 教育課程会場校と共同で教材研究の会を開き、共に学ぶ。
- (3) 教育課程の午後の活動は、サントミュージゼと連携しながら計画する。
- (4) 2学期以降の研修会は、図工・美術が苦手、または専門でない先生方でも、日々の授業に活用できるような内容で考える。

3 予定

- | | | | |
|-----|-----------|----------|---------------------------|
| (1) | 5月31日(火) | | 図工・美術委員会 |
| (2) | 6月28日(火) | 中塩田小 | 教材研究、情報交換会 |
| (3) | 7・8月 | | 教育課程午後について 教材研究(サントミュージゼ) |
| (4) | 9月7日(水) | 中塩田小 | 教育課程研究協議会 |
| (5) | 10月 | | 研修会 情報交換会 |
| (6) | 11月 | | 研修会 情報交換会 |
| (7) | 11月28日(月) | | 総委員会、情報交換会(会館) |
| | | 中塩田小 | 授業参観 |
| | | サントミュージゼ | 美術館見学など企画展含む |